

篠田商店

と通りのことができるようになるには10年以上はかかるといわれている。英志さんは、仕事を通して覚えていった。

革の性質、カバンの構造など基礎からしっかりと学ぶことが必要。技術を身につけると想像力が豊かになり発想が湧いてくる。この面白さをもっと伝えていきたい。



ドレスバッグは骨格が難しい。こまめな縫製が必須。切り返しの処理にも高い技術が必要。

革のクオリティは大切。縫製も丁寧に行う。技術は日々向上させていく。

英志さんが日本鞆ハンドバッグ協会の技術認定1級を取得した時の課題のバッグ。ドレスバッグを作ることはとても難しい。適度なふくらみ、まっすぐな部分などメリハリが大事。課題ではハードタイプのドレスバッグとソフトタイプのブリーフケースの2点を製作した。

昭和30年に山口から大阪へ出てきて、ランドセル製造会社で修業しました。昭和45年に独立し、新しい技術で勝負したいとビジネスバッグの分野へ進出。当時は、合皮の人気がたかまりつつあり、合皮を使った新しいカバンの需要が増えるだろうと思っていましたから。

ビジネスバッグは角をさざみ、ダーツをとり、きれいなカーブを出さなければなりません。それにはヘラを使う技術が必要。うちは長年身につけた技術、多様なオーダーに答えてきた技術の蓄積があるので、複雑な形のカバンでもきれいに仕上げることができます。

職人は技術に頼り、まじめにやり続ける人が多いのですが、それではダメやと思うんです。他の人や他社に負けない技術をアピールしないと、注文はきません。うちの強味はウェブの活用。個人客のオーダー受けられますから。そして、どんなに難しい注文でも絶対に断らないこと。それが信頼につながるといいます。業界では「他社はつぶれても、篠田はつぶれない」と有名なようで、うれしい限りです。

まだわりのカバンを作りたいたいという個人客からのオーダーにも高い技術で応えます



専務 篠田英志さん



代表 篠田次郎さん

カバン作りは、趣味の延長線上で、仕事にまわっている。

1992年から、息子さんの英志さんもカバンづくりに関わることに。

多品種少量生産のカバン製造 家族で品質の高さを支える

ランドセルをはじめ、生野区にはカバンを製造する会社が多い。その中で、篠田商店は特にビジネスバッグやトートなど、ファッション性の高いカバンやバッグを製造。オリジナルカバンのほかりメイク、フルオーダー、OEM（相手先のブランドで販売される製品を製造）の4つの柱で展開する。

時代とともに、消費者はカバンやバッグにも自分の嗜好に合ったものや、オリジナリティあふれるものを求めるようになった。それに伴い、同社でも大量生産から多品種少量生産へと転換。家族でカバン製造に関わり、素材や金具の選択、裁断、縫製などすべての工程を自社で行う。そこで、小ロットの注文にも対応でき、フルオーダーといったこだわり派の要望にも柔軟に対応。さらに、製作過程で何度もチェックすることで、高い品質を誇る。

かつて、オーダーが激減し、悩んだ時期もあったそう。じっとしていても仕方がないと、革のショルダーバッグを製造。角に切り目をつけ、ニスをぬって、ヘリ返しを行うといった革独特の製造技術を持っているので、クオリティは言うまでもない。そのバッグをきっかけに、徐々にオーダーが増加。量産よりも単価が高く、手作業で行う部分が多い革のカバンは、家族的経営という同社の事業形態にもマッチ。だからこそ、革のカバンを作りたいという注文にも変わらず応え続けることができる。

個人のお客様からのオーダーにも対応できるように、ウェブ注文も可能に。さらに、アパレル会社からのOEM生産、年2回の発注、幼稚園指定の通園バッグなど、販売チャネルも広がっている。

篠田商店

<http://www.j-shinoda.com/>
〒544-0025 大阪市生野区生野東3-12-13
TEL 06-6731-6984 FAX 06-6731-6980

事業内容 / オリジナル鞆・リメイク鞆・フルオーダー鞆の製造、OEM 製造販売、ウェブショップの企画運営

一口にミシンといっても用途に合わせていろいろ種類があるんです。

平ミシンや
腕ミシンにも
ボストン製
のミシンも
あります。
縫製は
手作業で
行うことも
あります。

昔は10年くらい使ったミシンも
修理はする年で返して
もらいます。
もっと若くしにも
カバン作りには興味を持って
もらいたいと思っています。

これからは息子が
頑張るって言ってくれたので
わたしも育成に力を入れて
いこうと思つてます。
若い人を育てていきます。

我が社の 自慢 業界のコンクール などでも多数受賞

大阪府知事賞をはじめ、カバンやバッグに送られる賞を数々受賞。さらに、2012年から、篠田次郎さんは日本鞆ハンドバッグ協会の技術認定委員を務める。息子の英志さんも技術認定1級を取得するなど高い技術力を誇る。

大阪府知事賞
日本鞆ハンドバッグ協会
技術認定委員
大阪府知事賞
日本鞆ハンドバッグ協会
技術認定委員

